



林野庁図書館ニュース

発行：林野庁書資料館

TEL：03-3501-0964

【開催のご案内】 林野庁×日比谷カレッジ

これからの森林。可能性は、無限大。 ～国民参加の森林づくり、建築物の木造化、森林と健康～

日本の国土の7割を占める森林のおよそ4割は、戦後、先人たちが作りあげた森林です。それが今、本格的な利用期を迎えています。森林・木材はCO₂を吸収し、貯蔵することでカーボンニュートラルに貢献するものであり、2030年度目標達成に向け様々な取組を行っています。また建築物への木材利用は、ビジネス面、心身面へ一定の効果をもたらす結果も出ており、こうしたことを受け、木材利用の促進にかかる法改正も行われたところです。木材を利用することの意義や実際の施工例、その効果等について解説し、さらに、森林と健康の関りについて、森林空間利用のニーズの高まり、森を楽しむ、こころと身体健康維持・増進、病気の予防等を目指す森林の楽しみ方について科学的な知見に基づき解説する講座が、日比谷図書文化館において開催されることとなりました。みなさまのご参加をお待ちしております。

林野庁 × 日比谷カレッジ
これからの森林。可能性は、無限大。
～国民参加の森林づくり、建築物の木造化、森林と健康～
2023年3月24日(金) 19時～20時45分(18時30分開場)
講師と演題：
森下 興 つかう木、つくる森林。つながるカーボンニュートラル。
恒次 祐子 都市の木造化がわたしたちにもたらしてくれること
瀬上 清貴 「健康によさそう」から科学的根拠による森林セラピーを

日本の国土の7割を占める森林のおよそ4割は、戦後、先人たちが作りあげた森林です。それが今、本格的な利用期を迎えています。森林・木材はCO₂を吸収し、貯蔵することでカーボンニュートラルに貢献するものであり、2030年度目標達成に向け様々な取組を行っています。また建築物への木材利用は、ビジネス面、心身面へ一定の効果をもたらす結果も出ており、こうしたことを受け、木材利用の促進にかかる法改正も行われたところです。そこで本講座では、木材を利用することの意義や実際の施工例、その効果等について解説します。さらに、森林と健康の関りについて、森林空間利用のニーズの高まり、森を楽しむ、こころと身体健康維持・増進、病気の予防等を目指す森林の楽しみ方について科学的な知見に基づき解説します。

構成：3名の講師よりレクチャーの後、質疑応答
定員 200名(事前申込み、定員に達し次第締め)
参加費 1,000円
会場 日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)

【お申込みについて】 3月17日(水)～18日(木)は、お申し込みフォームと併せてお申し込みの受付ができません。お申し込み受付は3月19日(金)～20日(土)となります。

【お申し込み方法】 3月17日(水)～18日(木)は、お申し込みフォームと併せてお申し込みの受付ができません。お申し込み受付は3月19日(金)～20日(土)となります。

【アクセス】 会場：日比谷図書文化館(地下1階) 日比谷コンベンションホール(大ホール) 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール) 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)

協力：林野庁 主催：千代田区立日比谷図書文化館 千代田区立日比谷図書文化館(日比谷公園内) <http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiyo/>
イラスト：平田 美紗子

講師と演題

- 森下 興氏 (林野庁企画課 課長)
つかう木。つくる森林。つながるカーボンニュートラル。
- 恒次 祐子氏 (東京大学大学院 教授)
都市の木造化がわたしたちにもたらしてくれること
- 瀬上 清和氏 (NPO森林セラピーソサエティ理事長)
「健康によさそう」から科学的根拠による森林セラピーを

開催日時：2023年3月24日(金曜日)
午後7時～午後8時45分(開場：6時30分)

開催場所：日比谷図書文化館 地下1階
コンベンションホール(大ホール)

参加費：1,000円 定員200名

お申込み等詳細については[こちら](#)(千代田区立図書館HPリンク)

協力：林野庁



日比谷図書文化館2階エレベーターホールにて関連展示を行っております。林野庁の森林・林業まんが4部作『お山ん画』『人to木』『リン子の絵日記』『林業よススメ!』も無料配布しております。ぜひ、日比谷図書文化館へお立ち寄りください。

期間：2023年3月24日まで
場所：日比谷図書文化館 2階ホール



第68回 日本山林美術展のご案内

国土の約7割を森林が占める、世界でも有数の緑豊かな国、ニッポン。豊かな自然に恵まれた日本には、四季折々の美しい景色が多く、是非とも未来に残したい、日本ならではの自然が育んだ各地の山林風景をご覧ください。林野庁職員平田美紗子氏の作品も展示されます。

後援：林野庁、森林文化協会

期間：2023年1月30日(月)～2月5日(日)

場所：銀座アートホール(銀座8丁目 銀座コリドー街)

<http://sanrin.biz/index.html>
(山林美術協会HPリンク)

68回 日本山林美術展

緑を守り、自然を愛す! 後援：林野庁、森林文化協会



新着図書・注目図書のご案内

林野庁図書館は、林野行政・施策部門における専門図書館として、歴史的に貴重な明治・大正期の森林・林業・木材産業に関する資料から森林環境教育等にご活用いただけそうな図鑑や絵本等まで幅広く図書を備え、皆様のご利用をお待ちしております。新着図書や注目図書の一部をご紹介します。

森林に何が起きているのか 気候変動が招く崩壊の連鎖



2019年、オーストラリアで史上最大級の森林火災が発生。5か月間で17万平方キロメートルもの国土が焼失した。近年、温暖化の影響による森林の「異変」が世界中で観測されている。大規模火災が相次ぐのはなぜか。森林破壊がもたらす経済的影響は。豊かな自然を守るため、何をすべきなのか

著者：吉川 賢
出版社：中央公論新社(2022年12月)

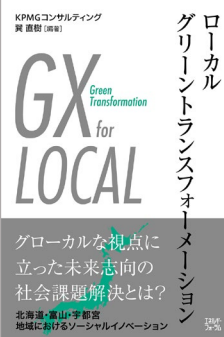
遠野物語 新装版



ヒグチユウコ氏の素晴らしい装画で、日本民俗学の原点となった不朽の名著が今蘇る！完全再録した注釈と、遠野の原風景を切り取った口絵写真。民俗学の基本語を説く補注から、詳細な検索に耐えられる索引、柳田文学を追求した解説まで、原書の格調をさらに高めた豪華愛蔵版

著者：柳田國男 補注：島 亨
出版社：大和書房(2022年9月)

ローカルグリーントランスフォーメーション



本書では、COP26前後から最近に至るまでに発生した脱炭素を巡る世界の動向や今後の展望などを示すとともに、カーボンニュートラル宣言以降の国内における脱炭素化政策の流れを俯瞰しつつ、エネルギー安全保障問題を含む国内のエネルギーに係わるさまざまな課題について考察しています。

編著者：巽 直樹
出版社：エネルギーフォーラム(2022年11月)

山奥ビジネス

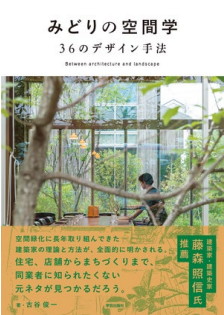


一流の田舎を創造する

人口減？ 地方消滅？ 悲観する必要はない。日本には「山奥」という豊かなフロンティアがある。「なにもない田舎」も、地域資源を再発見し、角度を変えて眺めれば、宝の山に変わるのだ。ハイパリュール・ローインパクト(高付加価値で環境負荷が低い)なビジネスを山奥で営む事例や、明快なコンセプトで若い世代やユニークな事業を呼び込んでいる自治体事例を紹介し、「一流の田舎」を創るストラテジーを提示する。

著者：藻谷ゆかり
出版社：新潮社 新潮新書刊(2022年10月)

みどりの空間学



36のデザイン手法

植物＝みどりと建築が引き立て合う空間デザインの資料集。両者の幸せな関係を目指す設計者が1) 内と外の関係をつくるみどり、2) 活動を誘発するみどり、3) 建築化するみどりの3視点で建築・インテリアの企画・設計に使えるノウハウを写真・スケッチ・図面で解説。テーマ別植物図鑑も付いた設計者・オーナー必携の1冊。

著者：古谷俊一
出版社：学芸出版社(2022年9月)

デジタル列島進化論



「課題先進国」の日本を復活するには何が必要か。エレクトロニクス分野のトップアナリスト、ヘッジファンドのファンドマネージャーという異色の経歴をもつ大学教授が、ハードとソフトの両面から日本を再設計するためのコンセプトを提言。各省庁の取り組みを俯瞰・検証しながら、デジタル時代の新たなランドデザインを描く。

著者：若林秀樹、日経BP総合研究所
出版社：日経BP日本経済新聞出版(2022年6月)

ヒマラヤの森はなぜ守られたのか

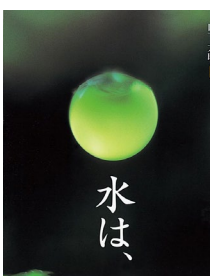
インド・ウッタラーカンド州における森林パンチャーヤトの資源管理



森林資源の減少と解決に向けて、参加型森林管理の重要性が指摘されており、本書ではその事例として、森林面積が増加に転じているインドにおける森林パンチャーヤト(森林に関わる住民自治組織)に注目する。著者はヒマラヤ山麓に位置するウッタラーカンド州での地域研究により、その制度や組織、住民参加の面から、課題について論じる。

著者：長濱和代
出版社：九州大学出版会(2022年12月)

水は、



著者の山下さんは、東京の大学を卒業する前後から屋久島や尾瀬の自然がもつ生命力にひかれ、写真を撮り続けてきました。1992年からは、屋久島に住みながら、主に照葉樹の森を撮っています。長年、森の中の樹木や小さな生き物の営みを見つめ続けてきた著者ならではの写真は、私たちが、今何を大切にすべきかを、静かに語りかけています。

著者・写真：山下大明
出版社：福音館書店(2012年11月)

連絡先：林野庁企画課林野庁図書館(国立国会図書館支部林野庁図書館)

代表：03-3502-8111(内線6060) ダイヤルイン：03-3501-0964

HP: <http://www.rinya.maff.go.jp/j/tosyo/index.html>

